

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

【資料1-4】

【R7年度目標】 地域ケア個別会議や介護支援専門員研修会、ケアプラン点検等を通じて、関係者のスキルアップを図るとともに地域課題の発見・解決策の検討につなげる。

村上市地域包括支援センターでは要支援1, 2の認定を受けた人のケアマネジメントを実施しています。(約85%を居宅介護支援事業所に委託) また、下記事業の他、介護度に関係なく支援困難・複雑化したケースを担当する介護支援専門員の後方支援(相談・同行訪問・関係者間で会議等)を行っています。

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント 給付管理件数			
	直接担当	委託	合計
令和6年3月	100	492	592
令和7年3月	102	502	604
令和8年1月	92	524	616

※ 令和8年2月末時点 委託している居宅介護支援事業所 25事業所(市外3事業所含む)

事業名	令和7年度 実績	令和8年度 予定
ケアプラン点検 [目的] 「自立支援」に資する適切なプランとなっているかを介護支援専門員とともに検証確認し、介護支援専門員の「気づき」を促すとともに、ケアマネジメントの質の向上を図り、健全なる給付の実施を支援することを目的とする。	・居宅介護支援事業所8事業所を対象に実施。(介護保険担当者と地域包括支援センター職員が対応) ・令和8年3月19日介護支援専門員連絡会にて点検報告を行う。 ・今後、市ホームページにて点検報告書を公表予定。	・8事業所を予定。 ・点検作業は一方ではなく双方向で行い、保険者と介護支援専門員がともに確認しあう姿勢で実施する。 ・介護支援専門員がどこに悩み、躓いているのかを把握し点検を通して「気づき」を促す。
地域ケア個別会議 [目的] 多職種の専門的な視点に基づく助言を通じて、自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術を習得すること及び地域に不足する資源等の行政課題の発見・解決策の検討につなげることを目的とする。	・会議は4回開催。会議の運営、司会進行を地域包括支援センター職員が担う。1回の会議で2事例を検討する。 第1回 5月28日 第2回 8月26日 第3回 10月28日 第4回 1月28日	・3回開催予定。 ・多職種協働による多角的アセスメントにおける具体的な助言を生かし、自立支援のためのケアマネジメント力を身につける。 ・個別課題から地域課題を抽出し、市の取り組むべき施策等につながるよう連動性のある会議としていく。
介護支援専門員研修会 市全域で実施する。	・関川村との合同で3回開催。 講師 NPO法人 高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク ミシガンネット 理事 佐藤 信人 氏 第1部 8月1日 参加者 50名 第2部 10月3日 参加者 45名 第3部 3月12日	・関川村と合同で計2回開催予定。
介護支援専門員連絡会 支所・本庁ごとに実施する。	年間回数 村上 6回(うち事例検討2回) 神林 1回(〃 1回) 荒川 3回(〃 1回) 朝日 2回(〃 2回) 山北 2回(〃 2回)	年間回数 村上 5回(うち事例検討2回) 荒川神林合同 3回(〃 1回) 朝日 2回(〃 2回) 山北 2回(〃 1回)